



一般社団法人 わらび座

第三期決算 ご報告と御礼

2023年9月1日～2024年8月31日

一般社団法人わらび座

第三期決算のご報告と御礼

平素より、一般社団法人わらび座の活動にご支援、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

この度、一般社団法人わらび座の社員総会にて
第三期（2023年9月1日～2024年8月31日）の
決算書類報告・事業報告を行い、承認されましたので、
ご報告させていただきます。

多くの皆様のご支援のもと、
無事に四期目を迎えることができました。
心より感謝申し上げます。



経営数値

損益計算書 概要

単位：千円

	第二期	第三期	対経常収益 比率	対前年比
経常収益	573,194	533,379	—	93%
事業費	126,811	126,199	23.7%	100%
管理費	376,090	354,915	66.5%	94%
当期経常増減額	70,293	52,265	9.8%	74%
当期一般正味財産増減額	47,358	52,192	9.8%	110%

損益計算書 総括表

単位：千円

科目	第二期	第三期	前年比率
収入	573,194	533,379	93%
ツアー公演料収入	249,583	182,070	73%
劇場事業収入	203,933	184,995	91%
アウトリーチ収入	34,255	32,486	95%
寄付金収入	17,139	12,896	75%
スポンサー収入	49,887	47,333	95%
「わらび座の会」会費収入	15,925	11,624	73%
その他収入	2,472	61,975	2507%
運営費用	502,901	481,114	96%
事業費	126,811	126,199	100%
管理費	376,090	354,915	94%
当期経常増減額	70,293	52,265	74%
当期一般正味財産増減額	47,358	52,192	110%

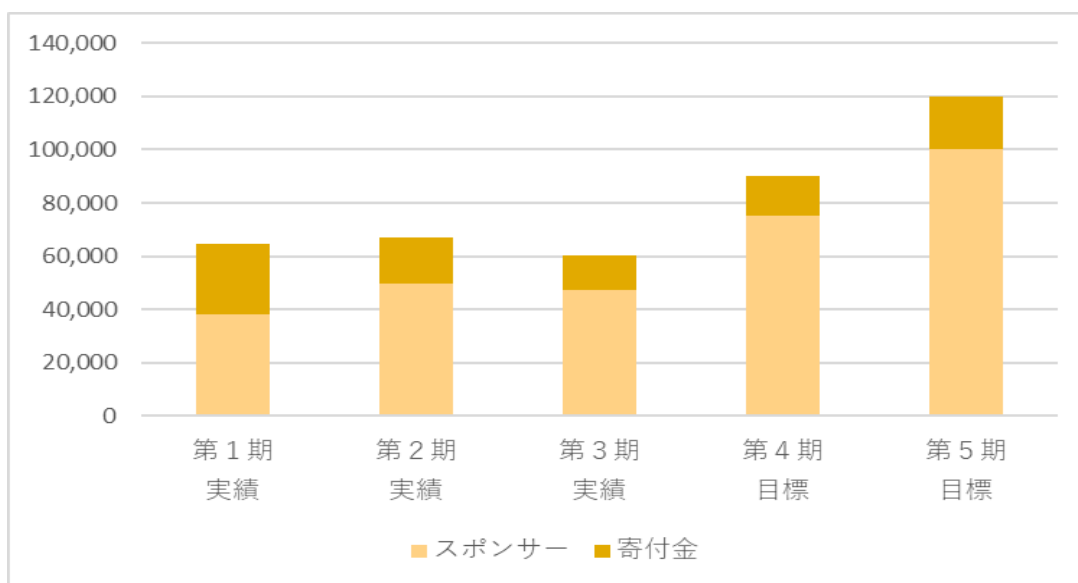
現状と目標

寄付金・スポンサー収入

単位：千円

	第1期 実績	第2期 実績	第3期 実績	第4期 目標	第5期 目標
スポンサー	38,369	49,887	47,333	75,000	100,000
寄付金	26,047	17,139	12,896	15,000	20,000
計	64,416	67,026	60,229	90,000	120,000

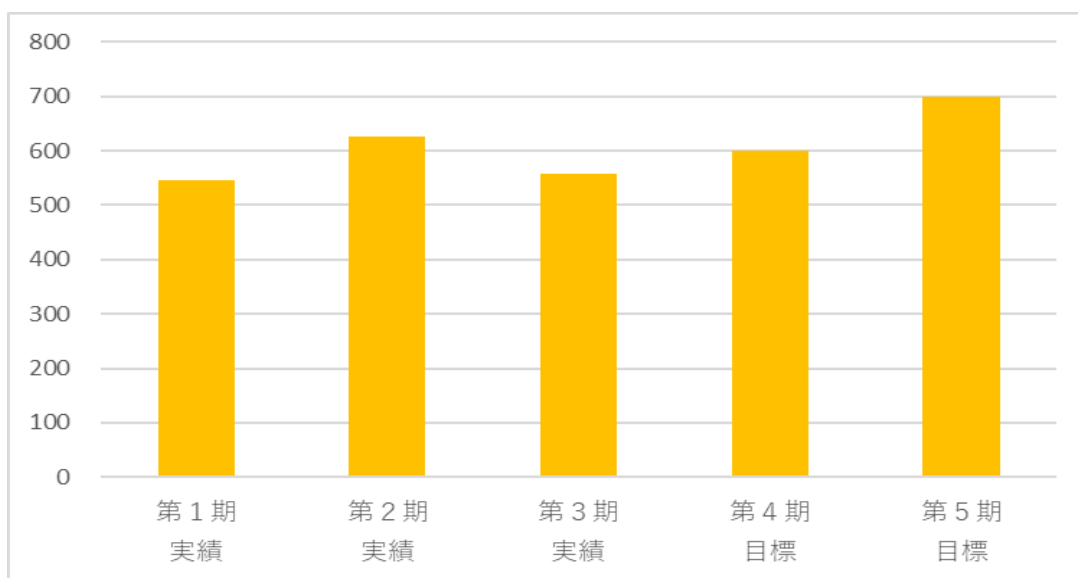
※ふるさと納税による委託事業費は含まれておりません



わらび座の会 有料会員数

単位：人

第1期 実績	第2期 実績	第3期 実績	第4期 目標	第5期 目標
545	627	558	600	700

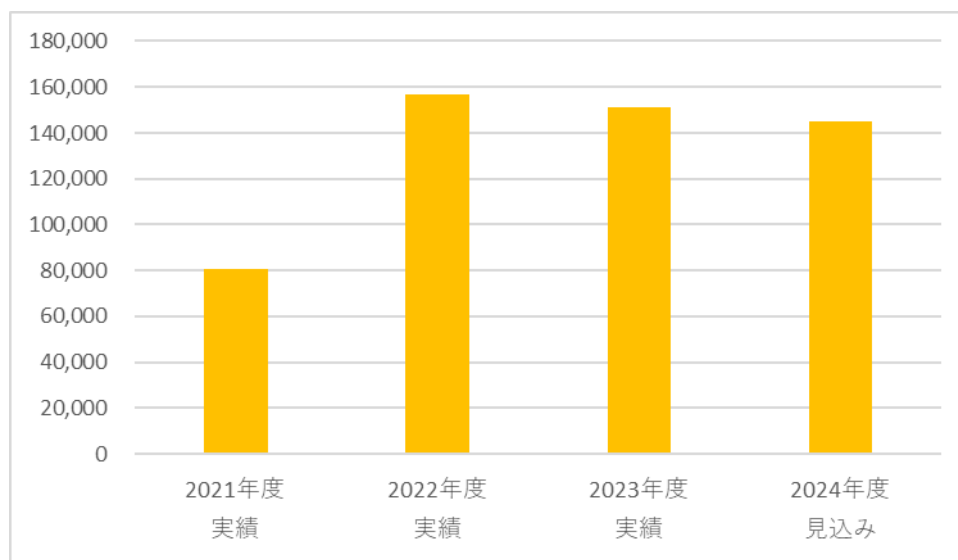


現状と目標

主要公演の観客動員数

単位：人

	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 見込み
合計	80,469	156,902	152,476	145,000
わらび劇場	19,452	19,095	19,666	20,000
全国公演	61,017	137,807	132,810	125,000



2024年度 主な上演作品

- ・ミュージカル「北斎マンガ」
- ・ミュージカル「青春するべ！」
- ・ミュージカル「ジャングル大帝レオ」
- ・ミュージカル「ひひ爺ちゃんとボクの旅」
- ・祭シアター「HANA」
- ・祭ステージ This is Akita!
- ・WALIVE

経営数値に関する分析

一期、二期に続いてわずかですが、3期連続黒字経営を達成することができました。これもひとえに支援者・スポンサー及び関係団体の皆様、公演を観に来て下さるファンの皆様のお陰です。心より感謝申し上げます。

新しく出発してから、ユニット経営を導入し、プロスポーツ経営の収入構造を参考に、外的要因に左右されることのない経営基盤の強化を図ってまいりました。収入全体に対するスポンサー・寄付金等を中心にしたツアー公演、劇場事業収入以外の収入割合は22%となっており、経営改善に繋がっております。

一方で、新型コロナウイルスの終息と共に国省庁の補助金、助成金が大幅に減少した関係で、収入は前期対比で93%約40,000千円減少、特に主軸であるツアー公演収入約68,000千円、劇場事業収入約19,000千円減少するなど大きな課題が残りました。コロナ以前ほどの集客数や公演数が回復していないのが実態です。また原価の高騰で事業費が嵩んでしまっている懸念要因もあります。

第四期はこのような補助金や支援金はさらに減少する見込みのため、主軸であるツアー公演事業の早急な構造改革を進めると共に、全国的に様々な方々とのパートナーシップを強化し、寄付金・スポンサー等の収入を増やしていく取り組みがこれまで以上に重要と考えます。

そのためには、事業や活動の実態をしっかりとお伝えする力を身につけてまいりたいと思います。

今後の事業方針

■ 劇場事業

「生活に感動を。いのちに芸術を。」

あきた芸術村のわらび劇場、小劇場では秋田・日本の歴史や文化を生かしたオリジナル作品を上演し、県内外の子どもたちに人生で初めての感動体験を提供することで、子どもたちの情操涵養と、県外からの集客を促進し交流人口拡大に貢献します。また地域文化・民俗芸能の継承と再創造をはじめ、地域や社会課題への解決のため文化芸術の力を活用した事業に積極的に取り組んでまいります。



■ 公演事業

多様性・包括性のある持続可能な共創社会の実現に向けて、ブランド力のある共創パートナーを迎え、アート×民俗芸能×テクノロジーによる客席参加型という新しいスタイルで、都市部での拠点公演、その他巡回公演を行います。それにより新規顧客、スポンサーの獲得に繋がります。その他アウトリーチ事業の開催、「わらび座の会」の会員拡大を通して、収入の安定化をはかってまいります。



■ スポンサーシップ事業

WGA「一般社団法人わらび座」支援協議会のサポートもいただきながら、寄付金・スポンサーを拡大してまいります。

同時にフレンドリータウン協定締結自治体のネットワークも構築し、より地域と連携しながら、劇団ならではの社会貢献事業を創出します。現在、秋田県内の13市町村と協定を締結しております。



最後に

世界中の人々の価値観もライフスタイルも大きく変化しました。コロナ前の状況に戻ることはないと思え、劇団としてどのような価値を提供することが本当に喜ばれるのか、経営基盤を構築していくことと同時に私たち自身がその変化に対応していけるかが重要と考えています。

東北六大祭りをモチーフにした参加型祭エンタテインメント、祭シアター「HANA」を開発し、昨年にかけて秋田県の企業版ふるさと納税を財源とした助成事業として、あきた芸術劇場ミルハスにて上演しました。今後は東京での公演も検討しています。日本人だけでなく海外の方々にも観ていただく機会を創り、秋田県の交流人口、関係人口の拡大に貢献します。

全国ツアー公演では新たなツアーブランド「イーハトーブシアター」を立ち上げます。参加型の舞台演出により、障害の有無、ジェンダー、国籍、経済格差など、あらゆるボーダーを超えた共感の体験を生み出し、多様性・包括性のある持続可能な共創社会の実現に貢献します。

「衆人愛敬をもて、一座建立の寿福とせり」

人々に感動と喜びを提供することで、従業員一人一人の幸せを実現し、人間らしく豊かで平和な社会に貢献することを法人理念として掲げ、わらび座にしかできない感動による新しい価値を創造し続けてまいります。

引き続き、ご指導賜りますようお願い申し上げます。



ミュージカル「ジャングル大帝レオ」